

岸壁でのチカ、サバなどの小物釣り用具と注意点

※小物釣りは、入門者向けではあるが、身体能力、知力、観察力、想像力、判断力、忍耐力など、様々な能力が問われ、他のあらゆる釣りに通じる要素が備わっている。

＜岸壁から仕掛けを垂らして釣る小物釣り用具＞※必要に応じてチョイスを。

- (1) 竿…のべ竿（リールを使わない手竿、万能竿、溪流竿）も、磯竿
- (2) 竿袋…竿数が多い場合は持ち運びに便利。
- (3) 竿ホルダー、三脚…岸壁に固定して置き竿で当たりを持ったり、魚を外すときに竿を立てかけたりする。
- (4) リール…磯竿の場合に必要。のべ竿の場合は竿先と仕掛けの間に先糸が必要。長さは先糸+仕掛け=竿の長さ程度。
- (5) 仕掛け…サビキなどさまざまな種類がある。魚の大きさに合わせ、針の大きさを選ぶ。オモリが付いていないものは、別途必要。トラブルに備え、予備も持参する。サビキ釣りでは餌無しでも釣れる場合がある。
- (6) 仕掛け巻き…撤収時や、釣り場の移動の際に利用する。仕掛けがいたみ次回に使用しない場合は必要ない。
- (7) 付け餌…アカアミと呼ばれるオキアミ。冷凍ブロックの場合は事前に解凍する。ピュアタイプのものもある。
- (8) アミ付け器…スピードバケツや三脚に取り付けるタイプがある。
- (9) まき餌…魚を寄せるためのもの。粉状のものに水を加えて練ったり、付け餌のアカアミを使っても良い。
- (10) まき餌ひしゃく…付け餌を、アミ付け器にのせる際に使ったり、まく時に使う、カレー用のスプーンなどでもいい。
- (11) 水汲みバケツ…海水を汲んで魚を入れたり、三脚の鉤に取り付けて重しに使う。撤収の際に岸壁を洗い流す時にも必要。
- (12) クーラー…魚の鮮度が落ちないように氷や保冷剤を入れて持参する。いす代わりにになる。
- (13) たも網…大物が掛かったり、海中に物を落としたりした際に使う。あった方が安心。
- (14) スカリ…海中にロープを付けて、魚を生かしておくかご状の網。
- (15) フィッシングペンチ、ハサミ…ペンチは魚を外したり、糸を切ったり、衣服に針が刺さった場合に針を切断したり、返しをつぶしたりして外する時などに使う。ハサミは糸を結び直したり、まき餌の袋を切ったりする時に使用する。
- (16) トング…魚を挟むために使う、先がギザギザで魚が滑らないものが良い。
- (17) 手拭タオル…手で魚を外すと汚れるので必要。
- (18) 折りたたみいす…クーラーでも代用できる。
- (19) ライフジャケット…小さな子どもには必ず着せること。

(以下は暗いときに必要)

- (20) キャップライト…暗いうちの必需品、懐中電灯でも可。
- (21) キャップライト用乾電池…電池切れの際の予備用。
- (22) 竿先用ライト…暗いうちに竿先に付けて当たりを見る。

＜釣り場での注意点＞

- (1) 釣り場の選択…事前に情報を入手し、余裕があれば、現地で数カ所チェックする。車から離れる場合は、車内に貴重品を置かず、車上荒らしに注意する。立ち入り禁止カ所には入らない。漁業関係者、港湾作業者に迷惑をかけないように、釣り場を選ぶ。暗いうちは、安全のため細心の注意を払う。
- (2) 釣り具のセッティング…釣り具をどのように配置すれば、無駄な動きをせずに済むかよく考える。自分の立ち位置（スタンス）を決め、試してみて、動きやすいように調整する。複数の竿を出す場合は、魚が掛かったときに、動き回って絡まないように、ある程度間隔を空ける。先客の釣り人との間隔も空ける。
- (3) 周囲をよく観察する…周囲の釣り人で、ベテランっぽい人が、どのように釣っているか、よく観察する。仕掛け、テクニックなどを参考にする。
- (4) 釣り具の扱い…初心者は魚が掛かると、魚ばかり気になり、頭が白くなる。リールを巻きすぎて、仕掛けの上部が竿先に食い込み、竿を折ったり、魚を外そうと竿を岸壁に放り投げて、傷つけたり、折ったりする。とにかくあわてず、落ち着いて行動する。竿は、簡単に折れるので、三脚にそっと置くなど、優しく扱うこと。折れたら釣りにならない。竿を振り回して、周囲にいる人に仕掛けを引っ掛けたりしないよう、十分に気配りする。小物釣りの仕掛けは長く、もつれたり絡みやすいので、竿の扱いは、ゆっくりと行い、十分注意する。
- (5) 釣り場での心構え…周囲の釣り人や、港の関係者とトラブルにならないようマナーを守る。トイレの位置や、足りなくなったものを買い足すために、近くの釣具店なども事前に確認しておく。できれば事前に訪ねて、仕掛けなどの買い物をして、釣り場の情報を聞くこと。ライフジャケットの着用など、安全にも十分に配慮する。岸壁での飲酒は慎む。海中に転落すると、命に係わる。魚にも命がある。食べない魚は逃がすなどの優しさが必要。魚への配慮がある釣り人は必ず上達する。撤収時は、ゴミは持ち帰り、散らばったアミを洗い流すなど、きちんと後始末をすること。